

問1. 研修の内容は、期待どおりでしたか。

期待通りであった	19
まあまあ期待通りであった	6
あまり期待通りではなかった	1
期待通りではなかった	0

問1で選択した理由を教えてください。

グループワークで他の病院で働く看護師さんとも情報共有や意見交換ができ、有意義な研修でした。
急性期病院で必要な認知症患者へのケアを学べた
認知症に関する知識と共に、具体的なコミュニケーション方法を学べることができた
地域連携の事や急性期病院での対応などについて具体的に学べることができた
認知症者に対するアセスメントに重点がおかれていたから
チームとしての関わり方等、考えを学べました。
講義だけではなく、演習やグループワークが充実していた

問2. 研修を受けて、ご自分の認知症看護の質改善・向上に活かしていきたいと思いませんか。

とても思う	24	92.30%
まあまあ思う	2	7.69
あまり思わない	0	0
思わない	0	0

問2で選択した理由を教えてください。

せん妄・抑制が多く患者のことを大事にできていないと思うから
自分たちが何気なく行っている言動が患者にとって虐待などに繋がる可能性がある
認知症やせん妄患者と関わるが多いため。
経験だけでなく、知識を身に付けることでより理論的なケアに結び付けることができると感じました。
日常の小さな選択から、関わっていききたい
情報から様々な捉え方や解釈をすることができることを学べました
実践に即した講義内容で、実践の中で応用できる講義であった

問3. 研修を受けて、病院・病棟の認知症看護の質改善・向上に活かしていきたいと思いませんか。

とても思う	24	92.30%
まあまあ思う	2	7.69
あまり思わない	0	0
思わない	0	0

問3で選択した理由を教えてください。

認知症ケアチームと協働できればと思う。
一人での取組では限界があり、病棟・病院全体で取り組んでいく必要がある
病棟全体で統一した個別性のあるケアなどをできればよいと考えたため
院内スタッフ、病棟スタッフ全員で取り組む事だと思う
スタッフに共有することでチーム一丸で取り組むことで患者さん、その家族が安心、安全な療養の場を提供できると思う

問4. 病院・病棟の認知症看護の質改善において、このような研修は必要であると思いませんか。

とても思う	24	92.30%
まあまあ思う	2	7.69
あまり思わない	0	0
思わない	0	0

問4で選択した理由を教えてください。

病棟全員が認知症患者に対し理解できていないから
普段の声掛けや言動の振り返りが必要であるため
認知症やせん妄症状が入院経過に影響するため、医療者が統一した関わりができるためには必要。
まずは認知症に対する知識を深めることが援助の第一歩となり全体の意識の向上につながるため
高齢の患者が多い現状から、正しい認知症の知識は患者・看護師の双方に大事だと思う
急性期病院において高齢者・認知症者の看護やケアを学べる場が少なく、また老年学を学んでいる医師も少ないため

3

問5-1. ①認知症患者に特有な看護上の課題と看護の基本（9月9日；1日目）

わかりやすかった	23	88.46%
まあまあわかりやすかった	3	11.53
あまりわからなかった	0	0
全くわからなかった	0	0

問5-1. ②認知症の病態と治療（9月9日；1日目）

わかりやすかった	20	76.92%
まあまあわかりやすかった	5	19.23
あまりわからなかった	1	3.84
全くわからなかった	0	0

問5-1. ③せん妄の予防と対応方法（9月9日；1日目）

わかりやすかった	23	88.46%
まあまあわかりやすかった	3	11.53
あまりわからなかった	0	0
全くわからなかった	0	0

問5-1. ④認知症患者の環境調整（9月9日；1日目）

わかりやすかった	24	92.30%
まあまあわかりやすかった	2	7.69

あまりわからなかった	0	0
全くわからなかった	0	0

問5-1. ⑤認知症患者とのコミュニケーションスキル（9月9日；1日目）

わかりやすかった	22	92.30%
まあまあわかりやすかった	4	7.69
あまりわからなかった	0	0
全くわからなかった	0	0

問5-1. ⑥家族への支援（9月9日；1日目）

わかりやすかった	23	88.46%
まあまあわかりやすかった	3	11.53
あまりわからなかった	0	0
全くわからなかった	0	0

問5-1. ⑦入院中の認知症患者に必要なアセスメントと援助技術（9月10日；2日目）

わかりやすかった	19	73.07%
まあまあわかりやすかった	7	26.92
あまりわからなかった	0	0
全くわからなかった	0	0

問5-1. ⑧地域包括ケアと退院支援（9月10日；2日目）

わかりやすかった	20	76.92%
まあまあわかりやすかった	6	23.08
あまりわからなかった	0	0
全くわからなかった	0	0

問5-1. ⑨認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援①（9月10日；2日目）

わかりやすかった	19	73.07%
まあまあわかりやすかった	7	26.92
あまりわからなかった	0	0
全くわからなかった	0	0

問5-1. ⑩認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援②（9月10日；2日目）

わかりやすかった	19	73.07%
まあまあわかりやすかった	7	26.92
あまりわからなかった	0	0
全くわからなかった	0	0

問5-1. ⑪認知症ケアとチームアプローチ（9月10日；2日目）

わかりやすかった	20	76.92%
まあまあわかりやすかった	6	23.07
あまりわからなかった	0	0
全くわからなかった	0	0

問5-2. Zoomを活用したグループワークや演習についてご意見があれば教えてください。

初めてZOOM研修を受けたが楽しかった

限られた時間内でしたが、他者の意見を聴くことができ有意義だった
所属病院や背景が違う参加者だからこそ、多角的に意見を出し合えると思います
移動の時間がなく 全国から集まれ、ワークができるのは良かったです。

抵抗なくスムーズに出来た

少人数なため意見交換がしやすかった。緊張せずできた。

グループワークが苦手。上手く発表ができませんでした。

問5-3. 本研修のフォローアップとして、今後開催してほしい研修がありましたら教えてください。

困難事例などの事例検討会

自施設の課題解決に対して 研修終了者がどのように関わっていったら良いのか。

外来通院中の人が、認知症症状が出てきたときの対応について、他の施設の実践を知りたい

臨床で実践した内容を振り返ることができる研修

急性期病棟や介護施設において、不安や混乱、帰宅願望が強い対象者への関わり方。

認知症ケアのチームアプローチの実践例と、困難事例の解決に向けたディスカッション。